

平成 31 年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文 B	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「精選現代文 B」 (東京書籍)						
副教材等	最新国語便覧 (浜島書店) / 完成日本文学史ノート (京都書房) 入試頻出セクション漢字プラス語彙 2040 (尚文)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・現代文 B は近代以降の文章の読解を中心とした授業です。2 年次の「現代文 B」の続きと捉えて下さい。2 年生より抽象度の高い小説や評論などを学習することになりますが、読解の基本を押さえ、様々な文章を理解する力をつけてください。主題の理解、具体・抽象の読み分けなど、確かな力を身に付けられるようにしてください。読解力をもとに条件に合わせて表現する力も身に付けましょう。また、語彙力をつけるために、語句の意味調べや漢字の小テストなどを実施しますので、地道な努力をしましょう。

2 学習の到達目標

- ・文章の内容を文脈に沿って理解すること。
- ・文章の主題を理解し、自分の言葉で適切に説明すること。

3 学習評価 (評価基準と評価方法)

観 点	a : 関心・意欲 ・態度	b : 話す・聞く能力	c : 読む能力	d : 書く能力	e : 知識・理解
観 点 の 趣 旨	・授業に積極的に参加し、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重し、美しく正しい表現を身につけようとしている。	・自分の意見を言うことができ、考えをまとめることができる。 ・周りの人間の意見を的確にまとめることができる。	・本文に即して心情、筆者の主張や意見を論理的に理解し、自分の考えを深め、発展させている。	・文章の要約ができる。 ・意図や目的に合わせて、適切な表現の文章を書くことができる。	・言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評 価 方 法	・行動の観察 (学習活動への参加態度) ・提出物の点検 ・小テストの出来	・行動の観察 (授業中の態度や発言など)	・提出物の点検 ・定期考査	・提出物の点検 ・定期考査	・記述の確認 (提出物・小テストなど) ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論1	【評論】 異文化について考察することにより、コミュニケーションの仕組みを考える。 教材： 「異文化理解」	○	○		○		a:単語調べ、漢字 b:考えたことを発表 c:文章の要約 d:意見を正しく理解できたか	a b c d 行動の観察と確認 小テスト
	小説1	【小説】大正時代の作品を読み、当時の世相や、登場人物の繊細な心情や感覚の表現を通じ、感性豊かな文学を楽しむ。 教材： 「檸檬」	○		○	○		a:単語調べ、漢字 c:登場人物の行動・気持ちをまとめて書く。 d:登場人物の感性に共感する。	a c d 行動の観察と確認 小テスト
	(前篇) 評論4	【評論】 民主主義について考える。対比的な問題把握を理解する。 教材： 「である」ことと「する」こと		○	○	○		a:単語調べ、漢字 b:具体例の発表など c:意見をまとめる d:本文を正しく読む e:社会学の知識を活用	a b c d e 行動の観察と確認 小テスト レポート
2学期	短歌・俳句	【韻文】 短歌や俳句の鑑賞し、定型の音律と自由な表現との差を学ぶ。言葉の選び方の妙に触れる 教材： 「牡丹花は咲き定まりて」「吹きおこる秋風」	○	○			○	a:単語調べ、漢字 b:声に出して鑑賞する（リズムを体感する） e:短歌や俳句の決まりごとを理解する	a b e 行動の観察と確認 小テスト レポート
	小説2	【小説】 文語文に慣れる。 人物関係を正しく把握する。 教材： 「舞姫」	○	○	○	○		a:単語調べ、漢字 b:声に出して鑑賞する c:登場人物の行動・気持ちをまとめて書く。 d:登場人物の関係を把握し、心情を理解する。 e:明治時代を知る。	a b c d 行動の観察と確認 小テスト レポート
	評論3	【評論】 芸術との触れ合い方について考える 教材： 「芸術を楽しむ」	○	○		○	○	a:単語調べ、漢字 b:討論を行う d:意見を正しく理解できたか e:芸術作品への接し方を理解する	b d e 行動の観察と確認 小テスト レポート
	詩	【詩】 構成と主題について考え、表現を味わう 教材 「二十億光年の孤独」	○	○		○		a:単語調べ、漢字 b:声に出して鑑賞する d:鑑賞文を書く	a b d の行動の観察と確認
3学期									

※表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:読む能力 d:書く能力 e:知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。